瞬快Rel.4.0系 対応内容一覧

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
4.0'	重要トラブル	以下の条件を満たす場合、瞬快クライアントをインストールしてから30日経過後、ドメインへログオン出来なくなる。 ・瞬快Rel.4.0クライアントがインストールされている。 ・ドメイン環境でドメインログオンの運用である。	プログラムの修正を行いました。	ALL Rel.4.0のみ	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
4.0a	新サービスパック対応	WindowsServer2003 SP1　に対応しました。	新しいサービスパック対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	マカフィー社 Managed VirusScanと瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	ウイルス対策ソフト連携	トレンドマイクロ社 ウィルスバスター コーポレートエディション 7.0と瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	ウイルス対策ソフト連携	日本エフ・セキュアー社 F-Secureアンチウィルス クライアントセキュリティと瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	運用時	Windowsファイアウォール機能が有効な状態で、突然瞬快のリモート管理機能から操作が行えなくなる。	ドメインプロファイルと、ローカルプロファイルの両方に対して、瞬快のプログラムを例外リストに登録するようにしました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	瞬快のアイコンが赤くなり、瞬間復元機能が動作しない機種がある	瞬快がロードされるタイミングによりOSの他機能との競合が発生する場合に、競合を回避するよう対応しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	NEC MATE MY28V/R-Fのみ発生しておりました。
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	ログオン・ログオフ処理が正常に行えなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	修復対象領域の設定にて、全角空白文字を含む、文字列を指定しないようにしてください。(フォルダ名の変更／ファイル名の変更など。)	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	修復無効モードに変更した後、システムのイベントに次のイベントが出力される。 ソース名：Service Control Manager イベントID：7026 「次のブート開始ドライバまたはシステム開始ドライバを読み込むことができませんでした。SKFSD」	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位／ パーティション単位)	更新モードでの動作中、異常にディスク使用量を利用してしまう場合がある。	瞬快をインストールした環境においては、ブートオプティマイズ機能を停止するように処理を見直しました。	ALL Rel.4.0'以前	以下のレジストリキー値を設定してください。 [HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Dfrg¥BootOptimizeFunction] "Enable"＝「N」(無効)	
	WindowsUpdate連携機能	管理機能に複数のNICが接続されている状態で、WindowsUpdate連携が正常に動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	マイネットワークのプロパティより、メニューの<詳細設定>-<詳細設定>を選択し、WindowsUpdate連携を実行するNICの優先順位を高くしてください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式にSKGINAを選択した場合)	リモートログオン後、Ctrl+Alt+Delキーを押した画面でログオン情報のユーザ名や日付などが表示されない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式にSKGINAを選択した場合)	ログオンスクリプトを設定しているユーザにて、リモートログオンを実施しても、ログオンスクリプトが動作しない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式にSKGINAを選択した場合)	パスワード付きのスクリーンセーバーが有効になっているユーザにてリモートログオンを行った場合、スクリーンセーバーが有効にならない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	リモートログオン方式をSLFLOGON方式にて運用ください。	
	リモートログオン (リモートログオン方式にSLFLOGONを選択した場合)	簡易ユーザ切り換えを使用している環境で、リモートログオンが実行ができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前かつ、WindowsXPのみ	リモートログオン方式をSKGINA方式にて運用ください。	
	リモートログオン	ログオン、またはログオフ中にリモートログオン機能からログオン、ログオフを実行すると、アプリケーションエラーが発生する場合がある。	リモートログオン機能より、ログオン、またはログオフ処理実行直後に再度ログオン、またはログオフ処理が行われた場合、クライアント側で、処理を行わないように修正しました。	ALL Rel.4.0'以前	ログオフ、またはログオン処理を実行後、しばらく時間を空けてから再度ログオフ、またはログオン処理を実行してください。	
	システムリカバリ機能	クライアントPCの設定で、コンピュータ名、IPアドレスの変更は可能ですが、DNSサーバのアドレス(優先、代替DNSサーバ)変更まで行いたい。	DNSサーバのアドレス(優先、代替DNSサーバのアドレス)まで設定可能であるように、機能強化しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	
	システムリカバリ機能	サービスの予約機能において、一回のみしか実行できないため、スケジューリングを行っての運用が出来ない。	予約機能において、実行後も予約状態を保つように機能強化しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	
	システムリカバリ機能	同一セグメント上に複数のシステムリカバリサーバを構築したい。	同一セグメント上に複数のシステムリカバリサーバを構築しても動作可能であるように、機能強化しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ機能	クライアント登録機能を実行すると、既に登録済みクライアントPCであっても、登録処理が実行される。	既に登録済みクライアントPCについては、クライアント登録機能が実行されても、ローカルブートするように修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0'以前	なし	
	レベルアップ (管理機能のみ)	レベルアップを実施した後、個別に変更した環境設定ファイルの内容が初期化されてしまう。	レベルアップ前に、環境設定ファイルの内容を記憶し、レベルアップ後に設定するように処理を見直しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	レベルアップ (サーバ機能のみ)	レベルアップを実施した後、アプリケーションの追加と削除からアンインストールを行うと、「新しいバージョンの製品が既にインストールされています。」というメッセージが表示され、アンインストール出来なくなる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0から Rel.4.0'へレベルアップしたときのみ	製品CD-ROMのサーバインストールを実行して頂き、メンテナンスメニューより削除を選択して、アンインストールを実施してください。	
	バージョンアップ (サーバ機能のみ)	初期設定のインストールフォルダとは違ったフォルダを指定してインストー行った場合、バージョンアップが出来なくなる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.3.5以前から Rel.4.0 or Rel.4.0'へバージョンアップしたときのみ	Rel.3.5以前のサーバ機能をアンインストールして頂き、Rel.4.0サーバ機能を新規インストールしてください。	
	その他	Windows標準のDHCP設定において、MACアドレス予約を行う場合、手間がかかるが、簡単にMACアドレスの予約を行いたい。	瞬快の管理機能に登録されているクライアント情報を元に、NETSHコマンドにてインポート可能である形式にて出力されるように改善しました。	ALL Rel.4.0'以前	お手数をお掛け致しますが、手動にて登録をお願い致します。	
	その他	スタンドアロンでの運用を想定しているが、クライアント機能インストール時に瞬快サーバ名の入力が必要となっている。そのためクライアント機能のインストール作業が行えない。	サーバ名指定画面において、スタンドアロン運用も選択可能に変更しました。	ALL Rel.4.0'以前	サーバ名の指定で、存在しないサーバ名を指定してください。	
	その他	瞬快クライアント機能の状態を取得するコマンドのローカル版(SKSTAT.EXE)を追加して欲しい。	リモートからの状態取得コマンドしかありませんでしたが、ローカル版の状態取得コマンドを追加しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	Windows XP HomeEditionに対して瞬快サーバ機能のインストール可能としました。	プログラムを改修しました。	□並 Rel.4.0'以前	なし	
	その他	ログオンパネルの表示設定で、Crtl+Alt+Delを押した後、Escキーを押し、再度Ctrl+Alt+Delキーを押すと、ログオン先がドメインからローカルに変わってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	以下の機能が動作中スタンバイモードへ切り替わらないように変更しました。 ・WindowsUpdate連携中 ・資源適用中 ・アプリケーション登録中 ・ファイル登録中	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	なし	
	その他	Sleep.exeを実行してもスリープが実行されない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0'以前	Sleep.exeと同一フォルダに、CD-ROM内のTOOLフォルダに格納されているMFC71.dllとMSVCR71.dllをコピーしてください。	
4.0b	新OS対応	Windows Server 2003 Standard x64 Editionに対応しました。	新しいOS対応を実施しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	管理機能、サーバ機能のみ対応
	ウイルス対策ソフト連携	シマンテック社Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.0と瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	ウイルス対策ソフト連携	トレンドマイクロ社 ウィルスバスター 2006と瞬快の共存に対応しました。	新しいウイルス対策ソフトに対する対応を実施しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	ファイル・フォルダ単位の設定のみ有効です。
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	MDL社 ISIS Drawを起動して終了すると、ISIS Drawが終了時に、以下のようなメッセージを出力する。 メッセージ：SetFileSecurity() failed. Error 317	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	EPSON GT-F500に添付の『EPSON Smart Panel』を実行するとアプリケーションエラーが発生し、起動できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	新規作成したファイルをCD書き込みウィザードに準備した後、ごみ箱へ移動する、または完全削除した場合、作成したファイルの内容が0Kバイトになってしまう。(既存ファイルの場合、影響ありません。)	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	修復対象領域に存在する、ファイルサイズが4GBを超えるようなファイル(VMWareのファイルなどが該当します。)にアクセスした場合、OSが再起動される場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	瞬間復元ドライバ (ファイル・フォルダ単位)	WindowsUpdateを行った後、修復モードに変更して運用を行っていると、Windowsが起動してから数分～数十分後に突然再起動する場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	リモートログオン (リモートログオン方式にSLFLOGONを選択した場合)	Windows XPの簡易ユーザ切り替え画面の状態で、スクリーンセーバーが起動中、リモートログオンが実行できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	管理機能	ポート番号を初期設定(10501)から変更した場合、管理機能からクライアント情報の取得が行えない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	管理機能	サーバOS上に管理機能をインストールした場合、ファイル登録機能がインストール出来ない。ファイル登録機能がインストール出来るようにし、ファイル登録処理をサーバOS上でも実行できるようにして欲しい。	サーバOSに管理機能をインストールした場合でも、ファイル登録機能のインストール/ファイル登録処理が行えるように、機能強化しました。	□並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.4.0a以前	なし	
	管理機能	Rel.4.0の管理機能から、Rel.3.5系のクライアント機能(パーティション単位の設定)を操作する場合、以下の機能が正常に動作しない。 ・モード変更 ・修復対象領域の設定	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前 復元タイプがパーティション単位のみ	なし	
	管理機能 システムリカバリ管理機能	「最新の状態に更新」を行うと、選択していた状態が再描画により失われる。選択した状態を保持して欲しい。	最新の状態に更新を行っても、選択状態を保持するように、機能強化しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	管理機能 システムリカバリ管理機能	見やすいサイズ/位置に画面を変更したにも関わらず、管理機能を一度終了すると元の状態に戻る。再度起動したときには、前回終了時のサイズ/位置で起動して欲しい。	終了時の画面サイズ/位置を記憶し、起動時には終了時と同じサイズ/位置で起動するように、機能強化しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	システムリカバリ管理機能	サーバと管理機能が同一端末にインストールされている場合、システムリカバリサーバへ接続するためのユーザ名入力画面を無くして欲しい。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0a以前	なし	システムリカバリサーバへ接続は、実行ユーザ権限で行います。そのためシステムリカバリ管理機能の起動はDeployment Adminsグループに属するユーザにて行ってください。
	WindowsUpdate連携機能	パッチが適用されているにも関わらず、実行結果には、「全ての更新に失敗しました。(ErrorCode=191)」と表示される場合がある。	システムのイベントログが最大サイズに達したため、適用結果が出力されない環境で発生します。本現象を回避するため、クライアント機能インストール時、システムのイベントログは、「必要に応じてイベントを上書きする」設定に変更する処理を追加しました。	ALL Rel.4.0a以前	システムのイベントログにおける設定を変更するか、もしくはシステムのイベントログを削除してください。	クライアント機能をアンインストールすることで、インストール前の設定に戻します。
	サーバ機能	24時間稼働しているサーバに瞬快サーバをインストールしていると、突然クライアント情報が削除される場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	システムリカバリ機能	サーバとクライアントが別セグメントの場合、「Requesting more DHCP options」のメッセージが表示されたまま、40秒程度処理が中断する。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	システムリカバリ機能	マルチキャスト配信において、一台のみエラーとなった場合、マルチキャスト配信が完了するまでエラーとなった一台にサービスが実行できない。実行できるようにして欲しい。	エラーとなった一台に対して、再度サービスが実行できるように、機能強化しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0a以前		
	システムリカバリ機能 (クライアント機能)	システムリカバリクライアント機能をインストールした後、シャットダウンまでの時間が長くなる場合がある。 (シャットダウンが完了するまで、最大で30秒になります。シャットダウン完了まで30秒程度の環境では影響ありません。)	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0a以前	なし	
	システムリカバリ機能 (クライアント機能)	システムリカバリクライアント機能の動作、具体的には、個別設定を行っている状況が把握できない。状況が把握できるようにして欲しい。	画面に各処理の動作を表示するように、機能強化しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0a以前	なし	
	バージョンアップ (サーバ機能のみ)	サーバ機能をバージョンアップすると、WindowsUpdate連携で実行したログ情報が削除されてしまう。	プログラムを改修しました。	□上 □特上 Rel.4.0a以前	弊社サポートセンターまでお問い合わせください。	
	その他	アプリケーション登録処理中、以下の条件が全て該当するファイルが存在する環境において、エラーが発生する。 ・アクセス権なし ・排他ファイル	プログラムを改修しました。	□並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.4.0a以前	なし	
	その他	コマンド(RPOFF.EXE)実行における通信処理で、環境に依存しないようにタイムアウト時間が指定できるようにして欲しい。	通信のタイムアウト時間を明示的に指定できるように、機能強化しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
	その他	メッセージダイアログが表示されるが、メッセージの内容が、「message not found」となる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0a以前	なし	
4.0c	WindowsUpdate連携機能	Updateサイトに、WSUSをサポートして欲しい。	WSUSをサポートしました。これに伴いユーザインターフェイスと全般的な動作を変更しました。	ALL	なし	
	WindowsUpdate連携機能	Automatic Updateサービスの開始、停止に時間を要することがあり、ErrorCode174が発生する場合がある。		ALL	WUDT.INIファイルの「SERVICEWAITTIME」の値を大きくすることで対処可能	
	WindowsUpdate連携機能	Windows Update管理機能でスケジュールを作成する場合、スケジュール名を半角ピリオドから始まる名称をつけるとエラーとなりスケジュール作成に失敗してしまう。	半角ピリオドから始まるスケジュールは作成できないように制限を加えた。	ALL	なし	
	WindowsUpdate連携機能	Windows Update管理機能で新しくスケジュールを作成した場合、内容が初期化されるため毎回詳細設定を変更する必要がある。前回の設定を覚えておくようにして欲しい。	前回の設定を覚えておき、次回スケジュールを作成する時には、前回の設定内容を初期値として表示するように変更しました。	ALL	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	WindowsUpdate連携機能	WindowsUpdate管理機能のウインドウ位置とサイズが起動するたびに毎回初期化されてしまう。	前回終了時の位置とサイズを記憶しておき、次回起動時に位置とサイズで表示されるように修正しました。	ALL	なし	
	WindowsUpdate連携機能	WindowsUpdate連携の動作結果で、「全てのクライアントでエラーが発生しました」と表示されるべきだが、「一部のクライアントPCでエラーが発生しました」と誤った表示をすることがある。	プログラムを改修しました。	ALL	なし	
	WindowsUpdate連携機能	実行結果のメール通知機能で、成功/失敗した端末名がわかるようにして欲しい。	プログラムを改修しました。	ALL	なし	
	WindowsUpdate連携機能	スケジュール実行中に"全てのログをクリア"を行なうと、動作中のスケジュールが終わった際、実行結果詳細ログが空白で表示される。	プログラムを改修しました。	ALL	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	McAfeeManagedVirusScan plus AntiSpywareに対応して欲しい	対応しました。	ALL	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	ウイルスバスター2005がインストールされた瞬快クライアントに対して管理機能から情報を取得するとウイルス対策ソフト名が"?"と表示されてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL	なし	
	管理機能	管理機能からクライアントPCの瞬快のマイナーバージョンを確認できるようにして欲しい。	管理機能のクライアントPC一覧に表示されるようにしました。	ALL	なし	
	管理機能	管理機能のクライアントPC一覧のカラムサイズが起動するたびに毎回初期化されてしまう。	前回終了時のカラムサイズを記憶しておき、次回起動時に同じカラムサイズで表示されるように修正しました。	ALL	なし	
	システムリカバリ管理機能	システムリカバリ管理機能のクライアントPC一覧のカラムサイズが起動するたびに毎回初期化されてしまう。	前回終了時のカラムサイズを記憶しておき、次回起動時に同じカラムサイズで表示されるように修正しました。	□上 □上+資源OP □特上	なし	
	瞬間復元ドライバ	更新モードで動作時させると、OSの起動が遅くなるなど動作が不安定になることがある。	更新モードで動作時の、ディスクへのアクセスの信頼性を向上させました	ALL	なし	
	瞬間復元ドライバ	修復ポイントの設定処理を安定して動作するようにして欲しい。。	修復ポイント設定の事前書き込みテスト機能を搭載しました。	ALL	なし	
	瞬間復元ドライバ	ディスクの空き容量が20%以下になると警告メッセージが表示されるが、まだ数十ギガバイトの空きがあるので警告メッセージを出さない要して欲しい。	警告メッセージが表示される閾値を定義ファイルで変更できるように修正しました。	ALL	なし	
	その他	管理機能からサーバ選択時に、FQDN名かつ16文字以上の指定を行った場合、WindowsUpdate管理機能を起動しようとするとバッファオーバーランエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	ALL	なし	
	その他	瞬間復元機能と、WindowsXPのプリフェッチ機能が競合し、正常に動作しない場合がある。	WindowsXPのプリフェッチ機能をオン、オフできる機能を実装しました。	ALL	オフにするには以下のレジストリを設定してください。 HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥SessionManager¥Memorymanagement¥PrefetchParameters 名前:EnablePrefetcher データ:0	
	その他	マルチブート環境での起動OSをコマンドで選択できるようにしたい。	RCHMODE.EXE、CHMODE.EXEで切り替える機能を実装しました。	ALL	なし	
	その他	RCHMODE.EXE、CHMODE.EXEで動作モード切り替え時に、強制修復が実行される・されないの動作が統一されていない。	修復スケジュールの変更時は、そのスケジュールに従うように変更しました。 動作モード変更時は、修復無効モードから別のモードに変わる場合を除いて、強制修復がかかるように統一しました。	ALL	なし	
4.0d	システムリカバリ機能	システムリカバリサーバとシステムリカバリクライアントを共存させているとき、システムリカバリサーバをアンインストールするとシステムリカバリクライアントに必要なレジストリキーまで削除してしまう。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	システムリカバリサーバとシステムリカバリクライアントは同一コンピュータにインストールしないでください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ管理機能で、以下の手順でサービスを作成すると「サービスの作成に失敗しました」のメッセージがでる。 1) 通常通りにSROサーバをインストール 2) SRO管理機能で任意のサービスを作る。(例:test) 3) SROサーバをアンインストールする。この時「管理DBを削除する」にチェックを入れた状態。 4) SROサーバを再インストールする。 5) SRO管理機能を起動して同じサービス名で再度「test」を登録しようとする。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	なし	
	システムリカバリ機能	Linuxの環境設定に置いて固定IP設定かつDNSアドレスが未設定の場合にエラーとなって設定できない。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリの後処理のユーザ指定処理の際、登録したバッチやコマンドが0を返さない場合に、エラーを無視して正常と判定するチェックボックスを追加しました。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	なし	
	システムリカバリ機能	「.」を先頭に利用するサービス名を指定すると、エラーとなる。	「.」を先頭に指定できないようにプログラムを修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ機能	以下の条件において、サービスの編集や、サービスのプロパティを行うと、ユーザ指定処理のパッチ名や、サイレントインストールのパス名が空白で表示されてしまう。 (1)1台のシステムリカバリサーバを複数のシステムリカバリ管理機能で運用している場合に、サービスを作成していない管理機能から、サービスの編集を行った場合 　または (2)管理機能をバージョンアップ、または、レベルアップし、レベルアップ前に作成した既存のスケジュールを編集した際	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	なし	UIの初期表示が壊れるだけで、既存サービスの動作には問題ありません。
	システムリカバリ機能	システムリカバリクライアント機能において、システムの環境変数(%TEMP%)を変更した場合、正常に動作しない。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	システムの環境変数を変更しないようにしてください。	
	システムリカバリ機能	ドメイン参加用のユーザ名指定において、パスワードの文字数制限が14文字となっている。しかし、Windows2000以降のユーザアカウントはパスワードに14文字以上指定することが可能なので、14文字という制限を解除して欲しい。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	なし	
	システムリカバリ機能	瞬快R4．0/R5．0のシステムリカバリ機能において、イメージ取得を行ったヒナ型クライアントが固定IPアドレスでの運用の場合、イメージ配信時にそのヒナ型クライアントも配信対象に含めてイメージ配信した場合、IPアドレスの衝突が起こり、正しくイメージ配信(正確にはイメージ配信処理後の後処理)が行えない。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	ヒナ型クライアントを配信対象に含めないようにしてください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能で利用するひな型コンピュータに対して、ひな形作成前にWSUSでの動作実績がある場合、そのひな型を配信したクライアントは、WSUSの管理コンソールからクライアントPCの制御が出来なくなる。(全てのクライアントPCが一台として認識されます)	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	システムリカバリ機能で利用するひな型に対して、事前にWSUSを利用したパッチ適用はしないようにしてください。	
	システムリカバリ機能	運用中に、PXEサーバがアプリケーションエラーを出力し終了する場合がある。	プログラムを修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0c以前	PXEサービスを再起動してください。	
	WindowsUpdate連携機能	Windows Update管理機能の新規スケジュール作成処理で、以前設定した詳細設定内容を保持するように修正しました。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	SymantecAntiVirus　CorporateEdition10.1との連携に対応しました。	設定を見直しました。	ALL Rel.4.0c以前	なし	
	管理機能	複数のクライアントを選択し、「クライアントPCの環境設定」を実行した場合、「リモートログオンタイプの取得に失敗しました。」が表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	電源オフのクライアントPCを除外して選択すれば現象は発生しません。	
	管理機能	管理機能で最新の情報に更新を実行すると、まれにクライアントの状態が「プロトコルエラー」と表示され、以降そのクライアントを操作できなくなる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	なし	
	管理機能	管理機能からクライアントの電源オフを行った場合、電源が落ちずに「電源を切る準備ができました」のメッセージが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	なし	
	管理機能	瞬快管理機能を起動する際、サーバ名に17文字以上のサーバ名を指定する。 その管理機能をアンインストールしようとすると、エラーが発生する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	なし	
	クライアント機能	ChemOfficeがインストールされている環境下で以下の操作を行うと、「Microsoft SQL Server Desktop Engine(以下MSDE)」のセットアップインストーラが起動してしまう。 ・イメージ配信後の後処理での瞬快クライアントサイレントインストール ・瞬快クライアントのアンインストール	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	Microsoft社のサイトを参照してください。(参照URL:http://support.microsoft.com/?kbid=889289)	
	クライアント機能	ランチャーアイコンを右ダブルクリックすると、「SKE00023 テンポラリファイルの書き出しに失敗しました」のメッセージが表示される。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	OKボタンを押下し、そのまま処理を継続して問題ありません。	
	瞬間復元ドライバ	エプソン社製エンデバーAT955において、瞬間復元ドライバを修復モードからバックアップモードに変更すると、変更後OSが再起動を繰り返す場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	OS起動時にPageUpキーを押し、簡易環境設定メニュー画面を表示し、「キャンセル」を選択してください。	
	瞬間復元ドライバ	エクスプローラにおいて、修復対象のディレクトリ内のファイルをコピー、またはリネームした時、コピーで作成されたファイル、またはリネームしたファイルのプロパティ情報が欠落する。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前 ファイルフォルダ単位	なし	
	瞬間復元ドライバ	Ulead社の「DVD MovieWriter 4」にてビデオデータをキャプチャし、「キャプチャ終了」ボタンを押すと、「キャプチャ失敗、キャプチャしたファイルが壊れている可能性があるので削除する」と表示され、キャプチャできない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前 ファイルフォルダ単位	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	修復対象となっているファイルを 編集する場合、エクスプローラでそのファイル一覧を参照していてもファイルサイズ・タイムスタンプの変更結果が即時反映されない。 (「最新の情報に更新」を実施することで反映される)	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前 ファイルフォルダ単位	「最新の情報に更新」を実施してください。	
	瞬間復元ドライバ	一般ユーザ権限で、フリーソフトのLHAPlusにてファイル圧縮を実行すると、エラーとなり圧縮できない。(管理者権限ユーザの場合は問題なく圧縮される)	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前 ファイルフォルダ単位	管理者権限ユーザにてLhaplusを利用してください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアント機能を修復無効モードでインストールされている環境をイメージ取得し、ディスクイメージの配信を行う。配信後、クライアントPCを起動し、ログオンするとスパナアイコンが赤色で表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	sophos antivirusがインストールされている環境において、瞬快のドライバが停止してしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前 ファイルフォルダ単位	なし	sophos antivirusと瞬快がウイルス対策ソフト連携しているわけではありません。
	瞬間復元ドライバ	MacromediaのFreeHandMXというソフトで一般ユーザ権限で、新規ファイル作成を行うとファイルの作成に失敗してしまう場合がある。(管理者権限ユーザでは問題なし)	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前 ファイルフォルダ単位	管理者権限ユーザにてFreeHandMXを利用してください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快をファイル・フォルダ単位でインストールした後、修復対象内にEXEをコピーしてから、コピー先のEXEを実行すると、タスクマネージャにて表示されるプロセス名が、テンポラリファイル名(4aなど)になってしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前 ファイルフォルダ単位	なし	
	資源配付機能	管理機能から資源配付タブを開き、配付指示を出した時、画面右下のフレームの「処理日時」列に表示される日時情報が、指示を出した日時ではなく資源を登録した日時になっている。 正しくは、配付の指示を出した日時が入るべきである。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	F5キーを押し最新情報を取得しなおすと、正しい日時が表示されます。	
	資源配付機能	資源配付を行なうと、リモートログオンタイプがSKGINAからSlflogoniに変わってしまう	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	なし	
	資源配付機能	cygwinのインストールされた環境でアプリ登録を行うとアプリケーションエラーが発生することがある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0c以前	なし	
	クライアントインストーラ	修復無効モードでクライアントを版数アップ・バージョンアップしても、モジュールが更新されない場合がある。	プログラムを修正しました。	ALL Rel.4.0c以前	更新モードにて版数アップ・バージョンアップしてください。	修復無効モードからのクライアント版数アップ・バージョンアップにおいて、再起動の回数が1回増加していま
4.0e	ウイルス対策ソフト連携	McAfee社Managed Total Protectionとの連携に対応しました。	設定を見直しました。	ALL Rel4.0c以前	Managed Total Protectionアップデート前に、瞬快クライアントを修復無効モードに変更しておき、Managed Total Protectionアップデート後に修復モードに変更してください。	
	ウイルス対策ソフト連携	Microsoft Windows Defenerとの連携に対応しました。	設定を見直しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	クライアント機能	瞬快クライアントの環境設定画面を開き、設定変更をしないで環境設定画面を閉じたときに再起動が不要となるように修正しま	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	クライアントインストーラ	クライアントインストールのパスワード入力(最大8文字)に際し、ディスプレイ環境によってはパスワード入力フィールドが7文字までしか受け付けないことがある。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	クライアントインストーラ	資源配付用ユーザアカウントを指定するセクションで、ピリオドを含むアカウント名で実行すると「ピリオドとスペースだけのログオンIDは使用できません」の旨のエラーメッセージが表示される。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	クライアントインストーラ	クライアントをアンインストールするとき、クライアントをインストールしたフォルダに含まれるファイルフォルダが削除されてしまう。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	クライアントインストーラ	コンピュータ名、ドメイン名の禁則文字として"]"がチェックされていない。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	IEからPDFやモジュールなどのDownloadを行い、修復対象領域にファイルを保存すると、Zone.Identifierのファイルが作成されてしまう。	プログラムを修正しました。	ALL Rel5.0b以前 ファイルフォルダ単位	なし	
	管理機能	瞬快管理機能でF5キーによる最新情報取得を行うと、SkConsole.exeがダンプファイルを出力してハングアップする場合があ	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	管理機能	Rel5.0,Rel4.0c以降の管理機能から、瞬快Rel4.0c以降のクライアントのプロパティを表示した場合に修復対象／対象外の情報が表示できない。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	管理機能	瞬快管理機能のリモートログオン機能において、リモートログオン、リモートログオフを繰り返していると、クライアントがリモートログオンを受け付けなくなる場合がある。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	システムリカバリ機能	瞬快管理機能を起動し、プロパティからMACアドレスを修正したり、IPアドレスを編集する際、その編集内容が次回システムリカバリ管理機能起動時まで反映されない。	プログラムを修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	システムリカバリ機能	FPDにて配信後のドメイン参加処理で「リブート命令を送信しました。ターゲットからのPXE要求を待っています」msgが出てタイムアウトになる。	プログラムを修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ管理機能のサービス名の禁則文字として"?"がチェックされない。	画面を修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	システムリカバリ管理機能のサービス名には「?」を使わないで下さい。	
	システムリカバリ機能	srordwiz.exeの初期画面にあるシステムリカバリユーザ名の禁則文字チェックがされていない。	プログラムを修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能では、サービス名を重複して登録できるパターンがある。	プログラムを修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	サービス名は重複しないように登録してください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能を利用してディスクイメージの配信を行った後、後処理を行う最中で、GetAdapInfo.exeがアプリケーションエラーを出力し、後処理が途中停止してしまう場合がある。	プログラムを修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	システムリカバリクライアントインストーラ	コンピュータ名、ドメイン名の禁則文字として"[]"がチェックされていない。	プログラムを修正しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	資源配付機能	資源配付機能でhostsファイルを配付したが、hostsファイルの内容が名前解決に使用されない。	プログラムを修正しました。	□並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	資源配付機能	資源適用のResApply起動時、アプリケーションエラーが発生することがある。	プログラムを修正しました。	□並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	資源配付機能	瞬快クライアントと管理機能が同居しているPCにおいて、管理機能からアプリケーション登録を実行するとマスターログ作成時に処理が失敗する。	プログラムを修正しました。	□並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	資源配付機能	サーバ選択時、アプリケーションエラーが発生する場合がある。	プログラムを修正しました。	□並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	資源配付機能	Managed Total Protectionインストール環境にてアプリ登録を行うと、ファイルが見つからないというエラーが発生する場合がある。	プログラムを修正しました。	□並+資源OP □上+資源OP □特上 Rel.4.0d以前	なし	
	WindowsUpdate連携機能	WindowsUpdate連携で、アップデートサーバ名の指定をするときに、末尾にWSUSAdminをつけた場合に警告メッセージを出すように変更しました。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	WindowsUpdate連携機能	WindowsUpdate連携処理において、クライアントPCがパッチ適用後、修復無効モードから修復モードへ変更するタイミングでファイル置換え予約が入る場合、クライアントが修復無効モードのまま処理が中断する。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	WindowsUpdate連携を更新モードにて実施してください。	
	WindowsUpdate連携機能	WSUS SP1をアップデートサーバに指定してWindowsUpdate連携処理を実行すると169(-2147467262)が返され、WindowsUpdate連携処理が動作しない場	処理ロジックを見直しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	WindowsUpdate連携機能	WindowsUpdate連携処理を実行し、起動直後のモード変更処理でエラーが発生した場合、3時間後にタイムアウトとなる。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前	なし	
	コマンド	複数環境(派生環境)において、更新モードの状態でRCHMODEの修復タイミング指定を「毎回起動時修復」以外を設定しても、モード変更後の修復タイミングが「毎回起動時修復」になってしまう。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前 複数環境(派生環境)	なし	
	コマンド	修復無効モードの状態でRCHMODEの修復タイミング指定を「一日一回修復」や「毎週○曜日修復」等の修復スケジュールの指定が反映されず、「毎回起動時修復」になってしまう。	プログラムを修正しました。	ALL Rel4.0d以前 ファイルフォルダ単位 Windows2000	なし	
4.0f	機能追加	次のウイルス対策ソフトに対応しました。	・F-Secureアンチウィルス クライアントセキュリティ ver 7.0 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.5i	ALL Rel4.0e以前	なし	対応しているウイルス対策ソフトについては、瞬快のReadme.txtを参照ください。
	機能追加	次のソフトと瞬快クライアントの共存に対応しました。	AutoCAD2007	ALL Rel4.0e以前	なし	
	機能追加	クライアントPCのプロパティで入力できるコメント情報を管理機能のリモート操作タブ画面のクライアントリストに表示できるようにしました。		ALL Rel4.0e以前	なし	
	クライアント機能	瞬快のログオンパネルの設定機能にて、ログオン先のドメイン名を設定した環境において、ログオンパネルでCtrl+Alt+Delキーを押下し、その後ESCキーを押下し、再度Ctrl+Alt+Delキーを押下すると、ログオン先が「ドメイン」から「ローカル」に変わってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0e以前	ログオンパネルの設定を行う前に、ドメインにログオンしてください。(一度でもドメインにログオンした後はワークグループに戻しても問題ありません。)	
	クライアント機能	Launcher.exe(タスクバーの『瞬快』アイコン)のプロセスが、起動直後にCPU使用率100%になる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0e以前	一度ログオフし、再度ログオンすることで回避できます。	
	クライアント機能	修復スケジュールを「毎回起動時」以外に設定している場合に、修復無効モードに変更し、再度修復モードに変更すると、修復スケジュールが引き継がれず「毎回起動時」に設定されてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0e以前	動作モード変更時に修復スケジュールを必ず設定してください。	
	瞬間復元ドライバ	他社製ソフトウェアとの組み合わせによって、運用中に以下のブルースクリーンが発生する場合がある。 0xC0000218 0x000000C2 0x00000050 0x000000F4 0x0000008E また、OSが突然再起動したり、OS起動時に「前回OSが正常に終了していない」旨のメッセージが表示される場合がある。	現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel4.0e以前	組み合わせによって問題の発生するソフトウェアを、最新バージョンにアップするもしくはアンインストールを行うことによって回避できる場合があります。	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	以下の条件を全て満たす場合に、ショートカットファイルをダブルクリックすると、ショートカットのファイルサイズが0バイトになり壊れてしまう。 ・ReadOnly属性のショートカットである。 ・リンク先を変更できないショートカットである。 ・瞬間復元ドライバがファイルフォルダ単位修復モードである。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0e以前	発生条件のいずれかを除くと回避可能です。	
	瞬間復元ドライバ	システムリカバリによるWindows同士のマルチブートが構成できず、1つ目のOSがエラーとなる。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0e	なし	
	瞬間復元ドライバ	cygwinにて、修復対象となっている空フォルダ内を参照したり、カレントディレクトリを移動させたりすることができない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0e以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	ファイルシステムに異常があり、瞬快が管理するテンポラリファイルが壊れた状態で、動作モードを修復モードに変更する時に失敗する場合がある。	軽微なファイルの異常の場合は、モードの変更ができるようにプログラムを改修しました。	ALL Rel4.0e以前	CHKDSKを実行し、ファイルシステム異常を修復した後に、ドライブのルートに存在する$`から始まるフォルダを削除してから、修復モードへの変更を行ってください。	
	瞬間復元ドライバ	PhotoshopなどのMBR更新型の認証方式をとっているソフトウェアが再アクティベーションを求められる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0d～4.0e	なし	
	管理機能	瞬快管理機能からリモートログオンするユーザまたは、瞬快管理機能起動時に問われるシステムリカバリユーザのパスワードが32文字以上の場合に、処理に失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	(1)はALL (2)は上,特上のみ Rel4.0e以前	パスワードの長さを32文字より短くしてください。	
	システムリカバリ機能	ディスクイメージの移動インポートを行った際、インポート処理に失敗すると、元のイメージファイルが削除されてしまい、復元できなくなる。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0e以前	なし	
	システムリカバリ機能	クライアントPCのリモート登録機能において、複数のクライアントPCにDHCPサーバから同じIPアドレスがリースされる環境では、登録処理に失敗する。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0e以前	なし	
	システムリカバリ機能	クライアントPCのリモート登録機能において、すでにシステムリカバリサーバに登録されているクライアント名を指定した場合、アプリケーションエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0e以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ管理機能を利用する際、サービスのコピーを利用して新しいサービスを作成し、そのサービスを実行しようとすると、"パラメータエラーです。"とメッセージが表示されて正しく実行できない場合がある。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0e以前	コピーしたサービスを編集し、再登録してください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能を利用して、ディスクイメージの配信を行い、固定でDNSサーバを設定すると、DNS設定のひとつである、「この接続のアドレスをDNSに登録する」の設定を無効にしていても、有効となってしまう。	左記に示すDNS設定を、引継ぐようにプログラムを改修しました。 ※ただし、Windows XP上でSysprepを利用してイメージを展開する場合は、Sysprepにより設定が初期化され、引き継ぐことができません。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0e以前	イメージ配信後、各クライアントPCのDNS設定を手動で変更してください。	
	資源配付機能	ファイル登録画面のツリー表示にて、2バイト目が0x5Cの文字コードである全角文字を含むフォルダ配下の情報が正しく表示されない。 例:「能」「表」「ソ」などの文字。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0e以前	該当する文字をフォルダ名に使用しないようにしてください。	
4.0f'	瞬間復元ドライバ	WindowsXPに瞬快クライアントをファイルフォルダ単位修復モードでインストールした環境で次のような現象が発生する場合がある。 ・端末の操作中あるいは放置時にOSがフリーズする。 ・「システムリソースが不足しています」というメッセージが表示され、操作を続行できない。 ・ブルースクリーン(STOPコード0x000000F4など)になる。	現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel.4.0f	Windows XP OS標準のサービスである「Help and Support」を無効にすることで回避可能です。	Windows2000では、この現象は発生しません。
4.0g	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・Symantec Endpoint Protection11.0 ・F-Secureアンチウィルス クライアントセキュリティ ver 7.1	ALL Rel.4.0f '以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モード時に、ドライブのボリュームラベルを変更しようとすると、権限が無い旨のメッセージが表示され変更できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0f '以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	Xythos社のXythosDriveでマウントしたドライブに対して、Microsoft Wordにて直接文書の保存しようとすると、アクセス権のエラーにより保存ができない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0f '以前	XythosDriveへ直接保存せず、ローカルのドライブに文書の保存を行った後、XythosDriveへのコピーを行ってください。	
	瞬間復元ドライバ	NVIDIA社のnForceのマザーボードを搭載するPCに瞬快をインストールすると、瞬間復元ドライバが動作せず、瞬快のスパナアイコンが赤色で表示される。	現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel.4.0f '以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快が修復モードの状態でAdobe Photoshop Elementsを起動させようとすると、「アートワークエフェクトを構築しています」と表示され、起動が完了するまでに数分を要する場合がある。	アートワークエフェクトが再構築される現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel.4.0f '以前	Adobe Photoshop Elementsの起動に数分を要する場合がありますが、起動後は通常通り使用できます。	「アートワークエフェクトを構築しています」のメッセージが表示された場合に、キャンセルボタンを押すとPhotoshop Elementsが使用できません。

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ機能	システムリカバリで作成するリソースの名前に全角の以下の文字が含まれると、システムリカバリ管理機能上にそのリソース名が表示されない。 "＃":シャープ "［":大カッコ(始) "］":大カッコ(終)	これらの文字を使用できないようにプログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0f '以前	該当する文字をリソースの名前に使用しないでください。	
	システムリカバリ機能	クライアントからのイメージ取得機能でシステムリカバリユーザを指定する際、ドメインユーザの指定ができない。	"ドメイン名¥ユーザ名"のフォーマットで指定できるようにプログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0f '以前	なし	
	システムリカバリ機能	netdom.exeを利用したドメイン参加において、ドメイン名、ユーザ名、パスワードに半角の以下の文字を指定すると処理が失敗する。 "&":アンパサンド "^":べき乗記号、ハット記号	これらの文字を使用できないようにプログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0f '以前	該当する文字をドメイン名、ユーザ名、パスワードに使用しないでください。	
	システムリカバリ機能	サービス名に半角スペースを含むサービスをコピーすることができない。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel.4.0f '以前	サービス名に半角スペースを使用しないでください。	
4.0h	瞬間復元ドライバ	復元タイプをファイルフォルダ単位の設定で瞬快クライアントをインストールすると、Windowsへのログオン直後に黒い画面で処理が止まってしまう現象が、一部の環境においてまれに発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0g以前	なし	
4.0i	瞬間復元ドライバ	シンボリックリンクとして作成したフォルダにファイルの新規作成や、ファイルのコピーができない。	プログラムを改修しました。	ALL ファイルフォルダ単位修復モード Rel4.0h以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	一般ユーザにてログオン時、LhaPlusにて圧縮に失敗し、さらに圧縮元のファイルが消える場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL 一般ユーザにて使用時 Rel4.0h以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	マウントポイントの作成を行い、マウントされたフォルダを開くと0x7Fのブルースクリーンが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL ファイルフォルダ単位修復モード Rel4.0h以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	NTFS上にマウントポイントが設定されている場合に、ファイルフォルダ単位修復モードに切り替えることができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0h以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位修復モードにおいて、ソフトオンネットジャパン社Z!Streamを起動しログアウトすると、C:¥Program Filesフォルダが消えてしまう。	プログラムを改修しました。	ALL ファイルフォルダ単位修復モード Rel4.0h以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをインストールすると、パス名の長さが260バイト以上となるファイル・フォルダを使用できない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0h以前	復元タイプをパーティション単位に設定して運用してください。	
	クライアント	瞬快クライアントをインストールし、環境設定画面から修復モードに切り替えようとOKボタンを押すと、「環境設定に失敗しました」のメッセージが表示されて、修復モードに出来ない場合がある。	プログラムを改修しました。	All Rel4.0h以前	なし	
	クライアント	WindowsXPクライアントにおいて、Ginaが置き換わっている環境に瞬快をインストールし、修復無効モードにてGinaを置き換えたソフトをアンインストールした後に、瞬快をアンインストールするとOSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	All クライアントOSがWindowsXP/Windows 2000 Rel4.0h以前	GINAを置き換えたソフトをアンインストールする前に瞬快クライアントをアンインストールしてください。	
	クライアント	環境設定画面内の修復対象設定のフォルダツリーで選択したフォルダに対して、エクスプローラ上で削除、名前の変更をすることができない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0h以前	タスクトレイアイコン(Launcher.exe)を終了させてください。	
	管理機能	更新モードのクライアントへウイルス対策ソフトをインストールし、管理機能のメニューから「修復ポイントの設定」を選択して実行した場合、ウイルスパターンの最新状態が保持されない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0h以前	管理機能で環境設定画面を開き、「修復ポイントの設定」ラジオボタンを選択してOKボタンを押してください。	
	管理機能	DHCPのリース期間が短い環境に瞬快を導入すると、瞬快管理機能が誤ったクライアントPCから情報を取得し、同じMACアドレスを持つPCが管理機能上に複数存在してしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0h以前	DHCPのリース期間を長く設定してください。	
	管理機能	ドメインユーザで、パスワードなしのユーザアカウントで管理機能からリモートログオンしようとすると、管理機能側では正常終了するが、クライアント側では「Incorrect password or username」と表示されてログインできない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0h以前	ドメインユーザにはパスワードを設定してください。	
	管理機能	管理機能からインポートを行ったCSV内に、マルチブートグループが含まれている場合、次のような現象が発生する。 (1)「マルチブートグループへコピー」を実行すると、すでにコピー済みのクライアントを二重にコピーしてしまう。 (2)プライマリグループ内のクライアントを、移動や削除した場合に、サブグループ内のクライアントが連動せずに残ってしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0h以前	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ	クライアントPCからのイメージ取得でシステムリカバリサーバに接続するときに表示される、システムリカバリユーザのアカウント名とパスワードを入力する画面のパスワードを入力するテキストボックスに入力可能な最大文字数が短いため、長いパスワードが指定できない。	プログラムを改修しました。(最大入力文字	□上 □上+資源OP □特上 Rel4.0h以前	システムリカバリユーザのパスワードの長さを14バイト以内に設定してください。	
	システムリカバリ	瞬快クライアントとシステムリカバリクライアントが共存した環境において、ブルースクリーン(0x93)が発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel4.0h以前	なし	
	その他	サイレントインストール定義ファイル作成ツールにてクライアントの環境設定画面の内容が出力した定義ファイルに反映されていない。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0h以前	なし	
4.0j	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	以下のウイルス対策ソフトに対応しました。 ・McAfee VirusScan Enterprise 8.7i ・F-Secure アンチウィルス クライアントセキュリティ 8.0	ALL Rel.4.0i以前		
	瞬間復元ドライバ	Seagate社製(ST380815AS、ST3160815AS)かつ、ファームウェアが4.CGAのハードディスクを搭載したPCで、瞬快にて修復ポイントの設定を行うと、処理が停止してしまう場合がある。	修復ポイントの設定時のハードディスクの書き込み処理において、想定値以上の時間を要する場合があったため、書き込みタイミングを見直し、問題を回避しました。	ALL Rel.4.0i以前	クライアントPCの環境変更は、修復無効モードに変更してから実施してください。(更新モードを使用しないでください)	
	瞬間復元ドライバ	ファイルシステムに異常がある場合に表示される「ファイルシステムに異常があります。修復無効モードに変更するもしくは、本製品をアンインストールしてから至急チェックディスクをしてください。」のメッセージが、ファイルシステムの異常を修復した後にも表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0i以前	「$scrap$~@&%」という名前のフォルダが、各ドライブのルートに存在すれば、削除を行ってください。	
	瞬間復元ドライバ	レジストリのパスの長さが260バイトを超える場合において、Windowsのシャットダウン直前に、0x19のSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0i以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	画像を大量に貼り付けてあるパワーポイントのスライドを、瞬快クライアントがインストールされた環境で開くと、リソース不足が発生し、スライドショーが正常に実行できなくなる場合がある。	特殊なファイルオープンにおけるメモリ使用のチューニングを行いました。	ALL Rel.4.0i以前	なし	
	クライアント機能	修復無効モードであるにもかかわらず、タスクトレイに表示される瞬快のスパナアイコンが青色になる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0i以前	一度Windowsからログオフして、再度ログオンしてください	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の実行結果ログに表示されるWUAPIのエラーコードは10進数で表記していたが、マイクロソフト社などのホームページには16進数で表記されているので、エラー発生時の原因調査がしづらい。	実行結果ログにはWUAPIのエラーコードを16進数と10進数の両方で表記するように改修しました。	ALL Rel.4.0i以前	なし	
4.0k	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードで動作させている場合に、ジャパンメディアシステム株式会社のWeb会議システムLiveOnを使用すると、ActiveXコントロールのインストールに失敗してしまう。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0j以前	"C:¥WINDOWS¥Downloaded Program Files¥"を対象外にすることで回避できます。	
	瞬間復元ドライバ	ファイルシステムの異常を検知する機能において、異常ではない場合に異常と誤検知する場合があった。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0j以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールしている場合に、InternetExplorer6でファイルのダウンロードに失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0j以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントをファイルフォルダの修復モードでインストールしている場合に、ファイルの作成と削除を数万回以上繰り返すと、次回OS再起動直後のディスクアクセスが多くなり、一定時間フリーズしたような状態になる場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0j以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快をファイルフォルダの修復モードでインストールした環境で、PCが突然フリーズする場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0j以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快をファイルフォルダの修復モードでインストールした環境で、0x0000007fのSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0j以前	なし	
	Updateキャッチャー	Updateキャッチャーの画面が文字化けしてしまう場合がある。	プログラムを改修しました	ALL Rel4.0j以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能で、NETDOMコマンドを使用したドメイン参加を行う場合に、パスワードに「:」(コロン)を使用すると、エラー(コード87のパラメータミス)になる。	プログラムを改修しました。	ALL Rel4.0j以前	なし	
	システムリカバリ機能	複数のLANカードが搭載されているPCにシステムリカバリサーバをインストールして、イメージ取得や配信を行うと失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel4.0j以前	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能でイメージ配信またはWindows環境の設定のサービスを実行した場合に、「異なるOSからのリクエストが発行されました」というエラーが発生し、処理が止まる場合がある。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel4.0j以前	なし	
	システムリカバリ機能	富士通製のFMV-D5370に対しイメージ配信を行った場合、配信途中で処理が停止し、ビープ音が鳴る場合がある。	プログラムを改修しました。	□上 □上+資源OP □特上 Rel4.0j以前	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	その他	瞬快クライアントがインストールされたPCのファイルシステム異常を検知したときの動作を変更しました。	PCの強制シャットダウンなどが原因でファイルシステムの異常を検知した場合、これまでは警告メッセージを表示するとともに、タスクトレイのスパナアイコンを赤色にしていましたが、警告メッセージの表示のみとしました。	ALL Rel4.0j以前	なし	
4.0m	ウイルス対策ソフト連携	機能追加。	ウイルスバスターコーポレートエディション10.0に対応しました	ALL Rel.4.0k以前	Rel.4.0kでも連携可能ですが、スマートスキャン方式のパターンファイルのバージョンが取得できません。	
	システムリカバリ	機能追加。	企業向けノートPC「FMV-LIFEBOOK」および、デスクトップPC「FMV-ESPRIMO」の2009年下期モデルに対応しました。	□ 上 □ 上+資源OP □特上 Rel.4.0k以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	修復対象外設定に同じ名前のファイル名とフォルダ名を指定すると修復対象外を誤認識する場合がある。 例：以下のように同じ名前のファイルとフォルダを修復対象外に設定する場合。 C:¥DATA　←ファイルの対象外 C:¥DATA¥　←フォルダの対象外	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0k以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	復元タイプがファイル・フォルダ単位の修復モードで、Microsoft Office 2007 ProfessionalのInfoPathを使ってテンプレートファイルを開くと、「ファイルが開けません」の旨のメッセージが表示されテンプレートファイルが開けない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0k以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	復元タイプがファイル・フォルダ単位で動作モードが修復モードの場合に、次のブルースクリーンが発生する場合がある。 0x00000050 0x0000008e	現象を回避するロジックをプログラム内に組み込みました。	ALL Rel.4.0k以前	なし	
	瞬間復元ドライバ	Windows同士のマルチブート環境を構築し、瞬快クライアントをファイル・フォルダ単位の修復モードでインストールすると、瞬間復元が行われない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0k以前	なし	
	WindowsUpdate連携	DNSやWINS等の名前解決環境がなく、ブロードキャストにおいてのみ名前解決が可能で、かつクライアントの使用するIPアドレスが頻繁に変更されるようなネットワーク環境のにおいて、Windows Update連携を実施すると、クライアントPCの電源状態確認処理に失敗し正常に動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	ALL Rel.4.0k以前	DHCPのリース期間を長く設定してください。	